

経済産業政策の 新しい「軸」を打ち立て、 日本経済を成長させたい。

今回は、経済産業政策の新機軸や、
分野ごとの施策の
中間的な整理をご報告します。



1 検討の背景

なぜ経済産業政策の新機軸が必要か？

2 「経済産業政策の新機軸」としての対応の方向性

経済産業政策の新機軸は何を目指すか
どんな考えで動いていくか

3 分野ごとの施策

各分野ごとにどんな政策を行うか

4 価値創造経営

これから求められる新しい経営スタイル

5 今後の検討の際に踏まえるべき構造変化

※こちらについては、中間整理本体を参照ください

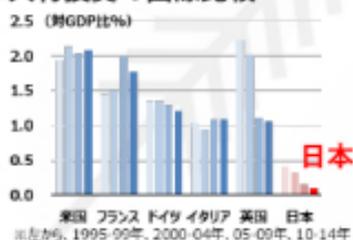
1 検討の背景 なぜ新しい政策の軸が必要か？

30年間成長できなかった日本

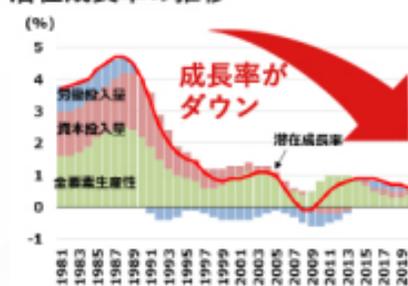
営業利益に対する
設備投資の比率



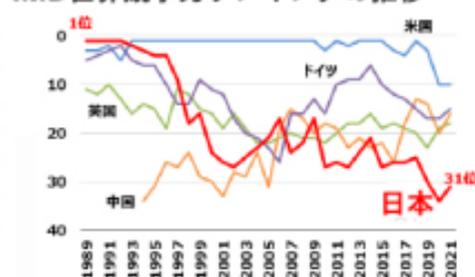
OJT以外の
人材投資の国際比較



日本のここ30年間の
潜在成長率の推移



IMD世界競争ランキングの推移



負のスパイラル

設備にも、人材にもお金をかけられていない日本。国際競争力が低下し、1位から31位に。経済力のある企業が生まれず、投資も行われない...

打破するためには...

これまでの構造改革や、小規模、短期的な対策では状況を変えるには至らなかった...

大規模・長期・計画的な支援など政策の総動員 = 「経済産業政策の新機軸」が必要…!

2 「経済産業政策の新機軸」としての対応の方向性

「経済産業政策の新機軸」の2本の柱

経済産業政策の新機軸

1. ミッション志向の産業政策

大規模・長期・計画的な支援など
政策の総動員



国や世界全体で解決すべき右の経済社会課題
(ミッション)について官民で長期的なビジョン
目標や戦略を共有。政府はそのため
大規模・長期・計画的支援、規制・制度・標準
外交等あらゆる政策を総動員、企業においては
価値創造力を高める取組を集中的に実施する。

- ①炭素中立型社会の実現
- ②デジタル社会の実現
- ③経済安全保障の実現
- ④新しい健康社会の実現
- ⑤災害に対するレジリエンス社会の実現
- ⑥バイオものづくり革命の実現

2 「経済産業政策の新機軸」としての対応の方向性

「経済産業政策の新機軸」の2本の柱

2. 経済社会システムの 基盤の組み替え

OSの組み替え



経済社会構造の変化に対応し、
経済のダイナミズムを実現し、
経済成長・国際競争力強化と多様な地域や個人の価値
を最大化する包摂的成長の両者を実現するために、
経済社会システムの基盤の組み替えを進める。

- ①人材
- ②スタートアップ・イノベーション
- ③グローバル企業の経営：価値創造経営
- ④徹底した日本社会のグローバル化
- ⑤包摂的成長(地域・中小企業・文化経済)
- ⑥行政：EBPM・データ駆動型行政

2 「経済産業政策の新機軸」としての対応の方向性

「ミッション志向の産業政策」とは

特定の産業育成ではなく、経済社会課題の解決
＝ミッションを最優先にした新しい形の産業政策のこと。
官民でビジョンを共有して大胆に投資します

それぞれの分野で追求すべき方針



グローバル：高付加価値型

- ・アーキテクチャ・データスペースを設定
- ・共通価値・グローバル・ルール形成をリード
- ・オールジャパンにこだわらずに、日本の勝ち筋を見定め、グローバルプレーヤーとの連携を志向



スタートアップ型

- ・既存の業界区分・業界団体を前提とした産業政策をやめる
- ・スタートアップの参入を常に留意
- ・社会課題解決にプライオリティをおいた政策を遂行

政策ツール



大規模・長期・計画的支援など 政策の総動員

- ・支援とともに規制・制度・標準・外交なども活用
- ・EBPMなどデータに基づき政策を実施
- ・中長期の価値創造に重点を置いた企業経営の推進

ミッション志向の産業政策で
“二兎”を追う



世界が直面する経済社会課題は、
世界全体で大きなニーズが存在。
大規模な市場が創出されると捉え、
社会課題解決＝ミッション志向の
産業政策で経済成長も目指します。

基盤となる経済社会システムの組み替えでは

実施
します

例えば...

スタートアップ・イノベーション の分野では...

日本のSU（スタートアップ） エコシステムの5つの課題

- ①人材面：起業家・SUの成長を支える人が不足
- ②資金面：資金供給は少なく、個人リスクは大きい
- ③グローバル化：国際展開のノウハウや意欲少ない
- ④出口戦略面：IPO偏重で、Exitの選択肢が少ない
- ⑤公共調達面：政府とSUが連携した技術開発は限定的

※日本の研究開発投資額も対米中比で少なく、
イノベーション力も相対的に低下



5年後までに国内スタートアップへの 投資額を10倍にする

1. スタートアップエコシステムの強化

- ・人材：起業家教育の拡充、多様な才能の育成・発掘プログラム、海外の未踏人材の発掘、研究者と経営人材のマッチングの促進、法務機能強化のための専門家による支援
- ・資金：個人保証不要で融資を受けられるように、事業化前段階のリスクマネー供給強化、研究成果と事業化のギャップを埋める助成の拡充、研究開発型スタートアップへ大規模・長期の成長資金の供給
- ・グローバル化：海外の投資家やVCの呼び込み、国内VCの育成による日本のエコシステムのグローバル化の促進、海外のスタートアップの呼び込み・海外企業との協業を通じたビジネスモデルの新規創出や市場の獲得等の支援
- ・出口戦略：スタートアップのM&Aの促進措置・買収資金の調達環境の整備
- ・公共調達：国や自治体によるスタートアップからの調達の拡充、SBIR制度のスタートアップへの抜本的拡充

2. イノベーションの促進

基盤となる経済社会システムの組み替えでは

実施
します

例えば...

人材の分野では...

今後5年で**新卒者：既卒者**の平均採用割合を7:3から**6:4**に

2030年までに**副業・兼業**を容認している**企業**を55%から**100%**に

課題

これまでの人事制度の前提（＝成長の継続）が見込めない

日本型雇用システムの見直しが求められている

もう一律、一斉の知識を詰め込めばOK...ではない

目指す社会に向けて、
何を実現すべきかという
到達地点を目指す教育が必要



1. 旧来の日本型雇用システムからの転換

人を大切にできる企業経営へ

- ① 人的資本経営を推進する「場」の創設
 - ② インターンシップの適正化・積極的活用 等
- 労働移動が円滑に行われる社会へ

- ① 「ジョブ型雇用」の導入を検討する企業に向けたガイドライン作成
- ② 多様な働き方や、
キャリアに中立的な税制・社会保障制度に向けた見直し
- ③ 兼業・副業の推進 等

2. 好きなことに夢中になれる教育への転換

- ① 教育課程編成の一層の弾力化
- ② 多様な人材・社会人の学校教育への参画
- ③ サードプレイスの全国ネットワーク創設 等



基盤となる経済社会システムの組み替えでは

実施
します

例えば...

価値創造経営の分野では... 2030年で日本の代表的企業の **PBR1以上**の割合を約6割から**約8割**に

課題

グローバル競争に直面している企業も、

**PBR 1を割る企業が東証一部上場企業の
半数近くを占めるなど、
企業価値を十分伸ばし切れていない。**



PBR 1を割る企業とは...

純資産よりも株式時価総額の方が低い、企業として
解散したほうが価値が高い状態にある企業

1. 価値創造経営の推進：「5つの軸」で「実質的」な企業改革を推進

- ① バランスシート経営改革：無形資産を含め高速・大規模に投資、事業ポートフォリオマネジメント等による資本効率性向上
- ② バックキャスト型長期経営：中長期の価値創造ストーリーの構築・マルチステークホルダー
- ③ マネジメントスタイル改革：中長期の戦略に注力するマネジメントスタイル
- ④ アグレッシブな成長を目指すためのマネジメント・ガバナンス改革：グローバル水準の長期インセンティブ報酬、サクセッションプラン作成、過半数の独立社外・多様性のある取締役会、長期経営方針についてCEOと社外取の徹底した対話
- ⑤ 人的資本経営



2. 政府によるミッション志向の産業政策

- ・「グローバル競争で勝ちきる企業」になることを目指し「価値創造経営」に取り組む
- ・PBRが1を満たさない場合、1を超える（企業価値が純資産を超える）ための、具体的かつ合理的な計画を立案・公表する
- ・日本の資本市場全体の評価を高めるため取組
- ・制度設計や産業構造上の課題など業界大で解決すべき課題に対し、官民連携で課題解決に向けて速やかに取り組む

3. 資本市場改革

機関投資家によるエンゲージメント強化、市場改革、資本市場への資金流入強化